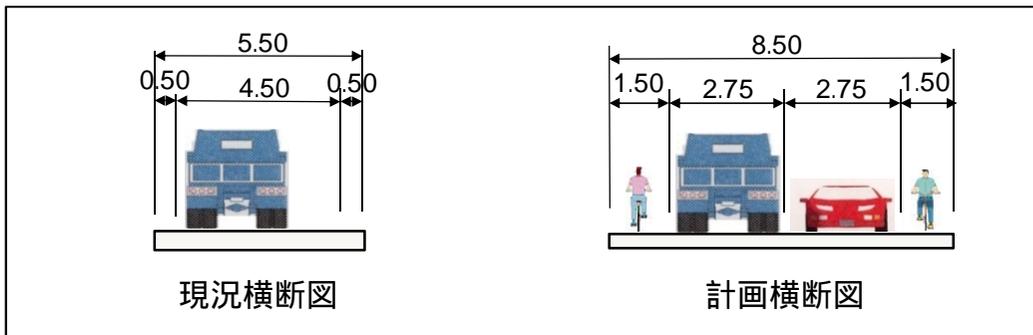
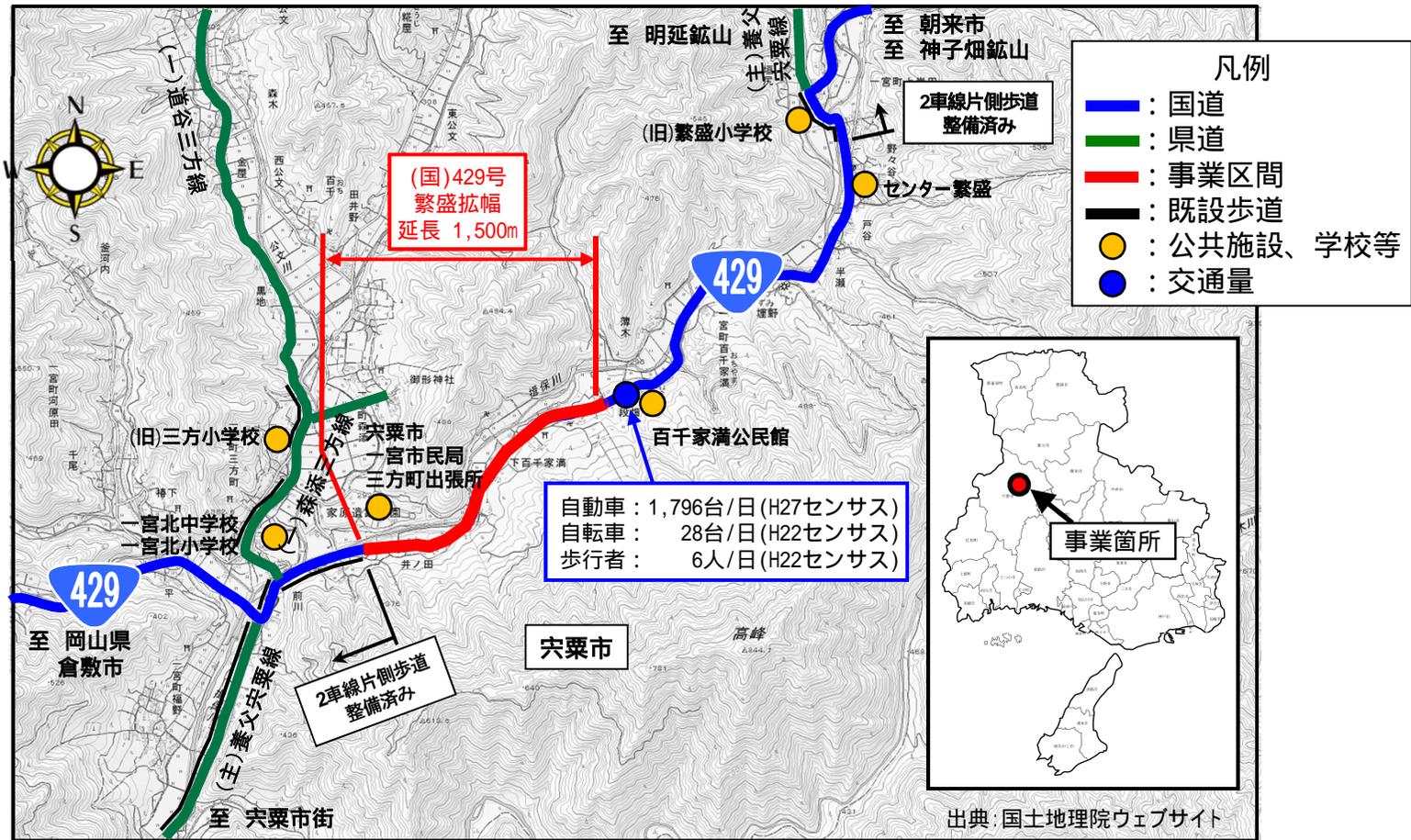


投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 上田 浩嗣 (国道・橋梁班長 江指 真祐)	内線	4362 (4378)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
道路事業	道路改築事業 一般国道429号 〔繁盛拡幅〕	しろうしいちのみやちょう 宍粟市一宮町 みかたまち おちやま 三方町～百千家満	6.8億円	2.3億円	平成30年度	平成34年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、岡山県倉敷市を起点とし、京都府福知山市に至る幹線道路であり、西播磨北部地域と南但馬・丹波地域を東西に連絡し、沿線地域の生活・産業を支える重要な路線である。</p> <p>円滑な交通の確保 集落内の幅員狭小な現道を拡幅することにより、安全で円滑な交通を確保する。 安全な歩行者・自転車通行の確保 幅広路肩の採用により、自転車(中学生・高校生の通学)・歩行者の安全な通行を確保する。 防災機能の強化 災害時の指定避難所である小中学校等への物資輸送機能を強化する。</p>			<p>【延長】道路改築 1,500m 【構造規格】第3種第4級 【計画幅員】2車線 歩道なし 車道5.5m(全幅8.5m) 【計画交通量】2,828台/日(H42予測) 【現況交通量】 自動車：1,796台/日(H27センサス) 自転車：28台/日(H22センサス) 歩行者：6人/日(H22センサス) 【負担割合】 国：55% 県：45%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>集落内を通過する現道は、幅員が狭小(最小車道幅員4.5m)であることから、大型車の離合が困難な状況である。また、過去5箇年(H24～H28)に7件の交通事故(うち人身事故2件)が発生している。このため、道路拡幅により幅員狭小部を解消し、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>現道は、一宮北小学校及び一宮北中学校の通学に利用されている(通学生46人)が、路肩が狭く、歩行者及び自転車の通行に危険な状況である。このため、幅員の広い路肩を整備し、歩行者及び自転車の安全な通行を確保する。</p> <p>現場周辺には、災害時の指定避難所である一宮北中学校、旧繁盛小学校や公民館(センター繁盛)があり、地域防災拠点である一宮市民局三方町出張所からの支援物資輸送を確実にを行う必要がある。このため、現道を2車線に拡幅することにより、地域防災拠点と指定避難所への物資輸送機能を強化する。</p>					
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>費用便益比B/C=1.1 道路拡幅により、移動時間の短縮、歩行者・自転車の安全確保が図られる。 宍粟市など沿線自治体から構成される国道429号千種・青垣間改良促進協議会より、早期整備を求められている。</p>					
(3)環境適合性	<p>道路路面については、在来種等による植生の復元を図り、周辺環境の保全に配慮する。</p>					
(4)優先性	<p>地域の防災道路強靱化プランに位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。 神子畑鉾山(朝来市)や明延鉾山(養父市)などの各鉾山をつなぐ「鉾石の道」が平成29年4月に日本遺産に認定され、今後多数の観光需要が見込まれることから、県南西部からのアクセス道路となる本路線の早期整備が必要である。</p>					

位置図

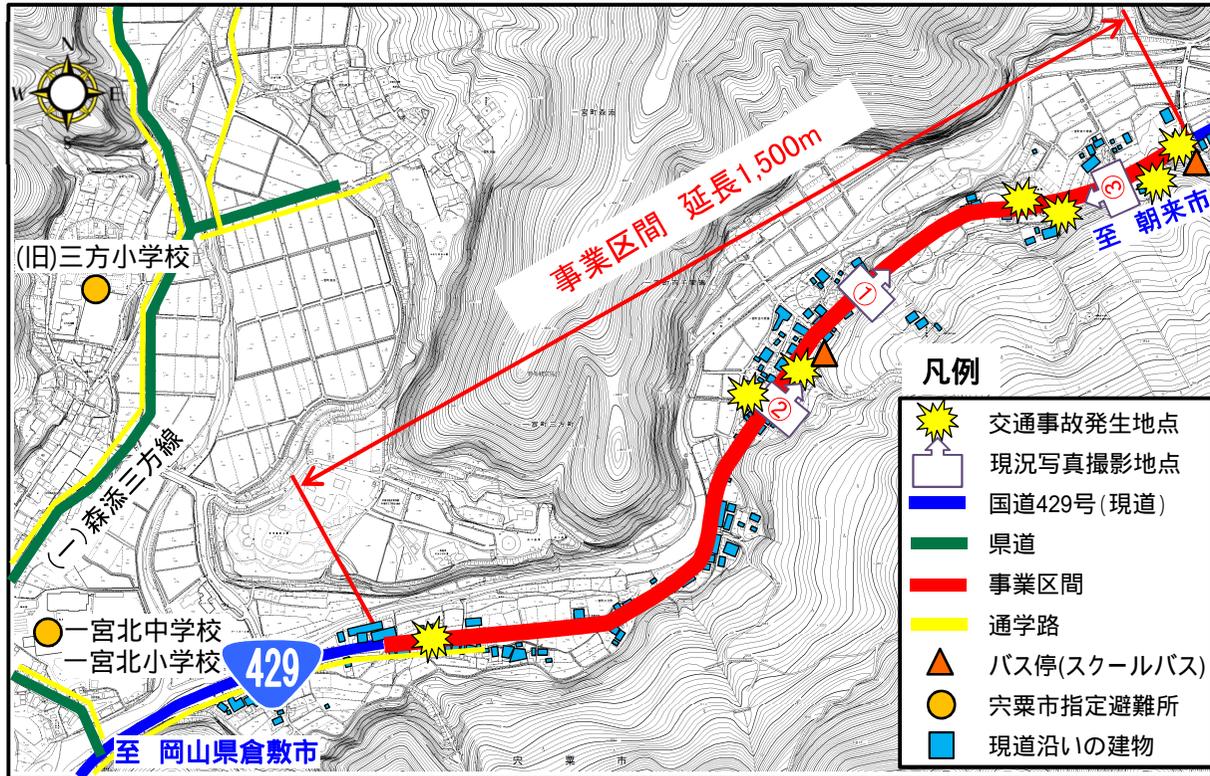


事業概要

延長：1,500m
 幅員：5.5m(8.5m)
 総事業費：6.8億円
 事業期間：H30～H34

事業の必要性 | 交通の円滑化と安全性の向上

- ・道路幅員が狭く(最小車道幅員4.5m)、大型車両のすれ違いが困難
- ・路肩が狭く、歩行者及び自転車の通行が危険
- ・現道区間におけるH24～H28の事故件数は7件(人身事故2件)



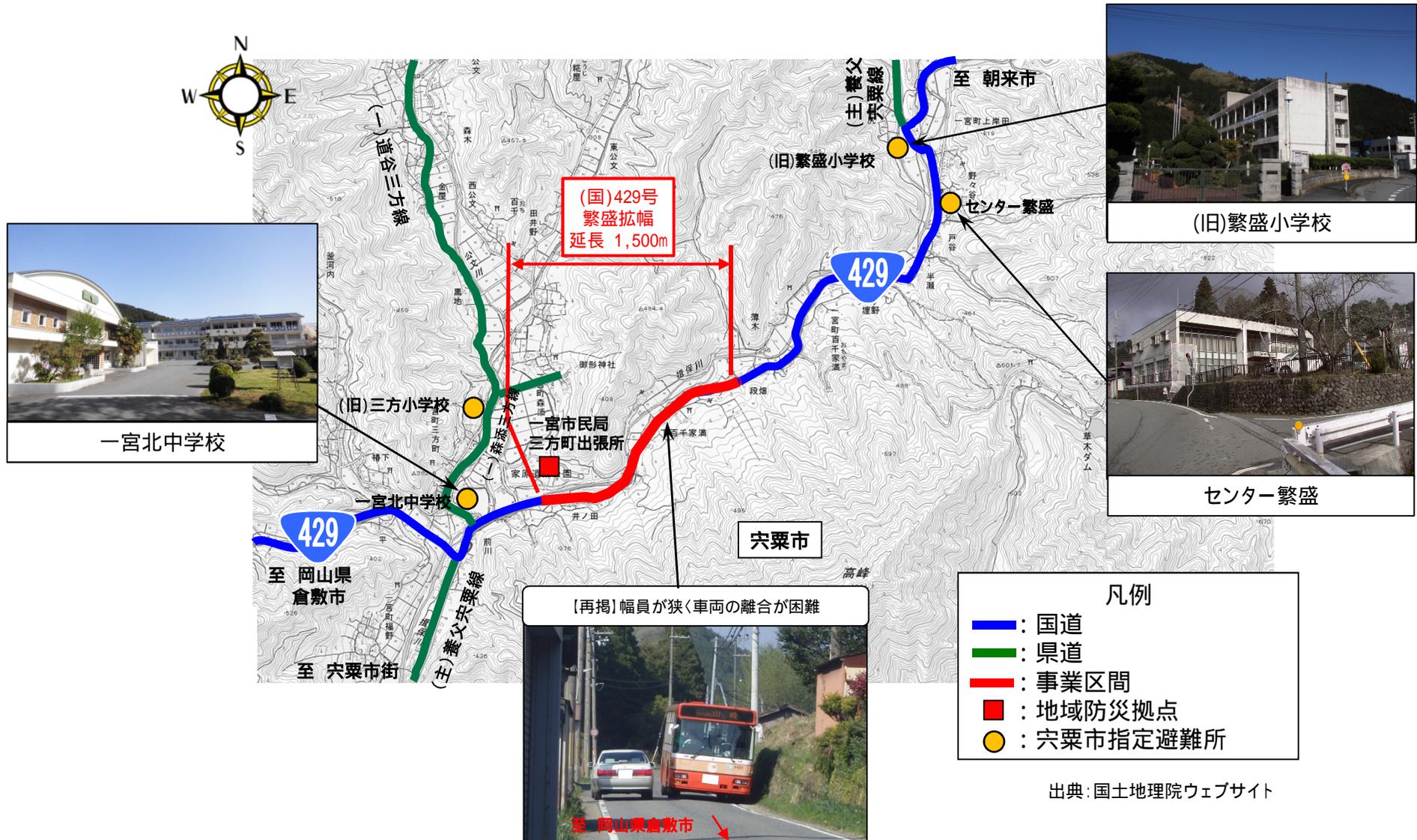
過去5箇年(H24～H28年)の交通事故発生件数
()は、うち人身事故

年	発生件数
24	0
25	1(1)
26	1(1)
27	1
28	4
計	7(2)

出典: 宍粟市GIS基盤地図



・災害時における地域防災拠点から指定避難所へのアクセス道路となるが、幅員が狭く、アクセス性が課題（救急車や物資輸送等の大型車の離合が困難）



1. スケジュール

当初計画

工 種	年 度				
	H30	H31	H32	H33	H34
調査・設計	■				
用地補償		■	■		
道路改良			■	■	■

2. 事業効果について

(1) 費用対効果

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用： (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額： (交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位)

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)	計		総費用	事業費	維持管理費	
					(百万円)	(百万円)	(百万円)	
道路	道路改築事業 国道429号 【繁盛拡幅】	走行時間短縮便益 609	0	計画交通量： 2,828台/日 (H42)	578	543	35	1.1
走行経費減少便益 0	0							
交通事故減少便益 0	0							
計	609							

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

一宮北小学校・一宮北中学校など通学者の安全確保
指定避難所へのアクセス強化

道路・街路事業の効果

対象事業：道路事業 国道429号 繁盛拡幅

(1) 費用対効果

効果項目 (費用対効果の便益内容)	
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による便益
交通事故減少	交通事故の減少による人的損害額、物的損害額及び渋滞による損失額等

(2) 費用対効果に含まれない効果

○印は当該事業効果の主な項目

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○ 緊急輸送道路補完ルートの整備による防災機能の強化
		救助・救援活動の支援 (災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○ 緊急輸送道路補完ルートの整備による防災機能の強化
		減災対策への取組み (二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○ 宍粟市北東部から小・中学校など指定避難所へのアクセス性向上
	平時	救急医療体制の支援	○ 宍粟市北東部から公立宍粟総合病院へのアクセス性の向上
		交通安全対策	○ 一宮北小学校など地元児童・生徒の安全性向上
②地域の活性化	地域間交流の促進	○ 宍粟市街地から周辺都市(朝来市・養父市)へのアクセス性の向上	
	中心市街地の活性化	—	
	地域産業の活性化	○ 宍粟市街地から周辺都市(朝来市・養父市)へのアクセス性の向上	
	観光支援	○ まほろばの湯、神子畑選鉱場(朝来市)、明延鉱山(養父市)へのアクセス性の向上	
	地域プロジェクト等支援	—	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	—	
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○ 通過交通の騒音、排気ガスなどの沿道影響の軽減	